

令和 6 年 5 月 30 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2019～2023

課題番号：19K00128

研究課題名（和文）無声映画期の欧米諸国におけるアジア映画の上映およびアジア映画人の活動に関する研究

研究課題名（英文）A Study on the Screening of Asian Films and the Activities of Asian Filmmakers in Western Countries during the Silent Film Era

研究代表者

韓 燕麗（HAN, YANLI）

東京大学・大学院総合文化研究科・教授

研究者番号：10537096

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 3,000,000円

研究成果の概要（和文）：本研究は、従来の映画史研究がナショナルな枠組みにとらえられすぎていたことへの反省から、映画作品の伝播に伴う文化的融合または摩擦、異なる文化圏にまたがる映画人の活動、国境を越えた民族的ネットワーク圏における映画制作の状況といった映画史における諸々の事例に注目し、下記二つの切口を軸とした映画史の再構築を試みた。

1. 無声映画期の欧米諸国におけるアジア映画の上映およびアジア映画人の活動の実態について、調査・分析する作業を始めた。2. これまで十分に踏査されてこなかったヨーロッパ諸国におけるアジア映画の受容の実態について実態調査と分析を試みた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

無声映画期の欧米諸国におけるアジア映画の上映と受容の実態に関する研究は充分とはいえない。従来の国別の映画史研究では看過されてきた無声映画期の史実を、地域横断的な視点で体系的に論じることが、本研究の学術的意義である。

異民族に向けて自らの「正しい」表象を構築しようとするアジア映画人の努力、そしてアジアからの文化的発信は欧米諸国にいかにか受容されたかを解明することによって、移動の時代である今日における異なる人種または国民の間の文化的摩擦を最小限にし、相互認識・相互理解の可能性を探求することが、本研究の社会的な意義である。

研究成果の概要（英文）：This study, reflecting on the fact that conventional film history research has been too nationalistic, focuses on various examples of film history, such as cultural fusion or friction in the transmission of film works, the activities of filmmakers across different cultures, and the state of film production in ethnic networks that transcend national borders, I have attempted to reconstruct film history from the following two perspectives.

1. research and analyze the screening of Asian films and the activities of Asian filmmakers in Western countries during the silent film era. 2. survey and analyze the actual situation of the reception of Asian films in Western countries, which has not been sufficiently investigated until now.

研究分野：映画史

キーワード：映画史 アジア映画人 欧米諸国

#### 1. 研究開始当初の背景

報告者は2004年ごろから博士論文の一部として海外中国系移民の映画製作について研究しはじめて以来、海外におけるアジア系移民と映画の関連について関心を持ち続けてきた。2014年に下記の研究成果を出版させたが、①トーキー映画が量産され始めた1930年代以降に集中し、無声映画期におけるアジア映画の上映実態およびアジア映画人の活動に関する視点が欠落していた、②研究対象が主にアメリカに限られ、ヨーロッパなどの広範囲に及ぼす映画上映とその影響については無踏査だった、という二つの点において、まだ極めて不十分なものだと言わざるを得ない。韓燕麗『ナショナル・シネマの彼方にて——中国系移民の映画とナショナル・アイデンティティ』晃洋書房、2014年4月。そこで、無声映画期そしてアメリカ以外の地域に対するさらなる調査および作品に対する読解分析を行い、更なる調査・研究を始めた。

#### 2. 研究の目的

本研究は、①従来の国別あるいは地域別の枠組みでなされてきた映画研究では、捉えきれなかった映画史の事実や経緯を詳細に究明する、②海外におけるアジア映画受容の実態を分析することによって、無声映画期のフィルムおよび映画人による洋の東西にまたがる大移動が、異なる文化圏に属する人々の相互認識のプロセスにどのような影響を与えたかを解明すること、という二点を目的とする。

#### 3. 研究の方法

具体的に以下の研究方法によって研究を遂行した。

##### ① 映画フィルムの発掘調査

コロナ禍の世界的蔓延で海外調査に制限があったが、フランスとベルギーのフィルム・アーカイブと国家図書館へ調査に赴き、アジア映画が上映されていた地域の公文書館やローカルアーカイブへ積極的に現地から情報収集を行った。

##### ② 映画雑誌などの文字資料の調査

映像資料を収集すると同時に、各大学の資料館や政府公文書館で同時期の雑誌や新聞などの紙媒体のメディアに掲載される映画評論なども網羅的に収集・調査・分析した。

##### ③ 関係者に対する聞き取り調査

聞き取り調査は当事者の記憶や状況によって曖昧さと限界があるため、補助的手段として映画研究者と評論家に聞き取り調査を行った。

##### ④ 日本映画の専門家を招待してシンポジウムを開き、または自ら海外へ赴き国際学会で口頭発表を行うなど、積極的に日本国内外の映画研究者と意見交換を行った。

#### 4. 研究成果

研究期間の2019～2023の間に、主に下記の研究成果を発表した。

##### 【著書】共著

「三、四十年代日人在港的觀影攝影活動」『探索 1930 至 1940 年代香港電影』香港：香港電影資料館、2022年5月、pp.166-179

「探尋海外光影—有关早期华语有声片制作的補遺」(海外の光と影—初期トーキー映画に関する補遺)『北大芸術評論』北京：商務印書館、2023年1月、pp.66-77

### 【論文】

「中国語映画の『戦後』—女優李麗華とその主演作品を中心に」、西村正男／星野幸代編『アジア遊学 特集 移動するメディアとプロパガンダ』勉誠出版、2020年3月、pp.182-195。

「アジア映画の味方／見方」、東京大学アジア研究図書館ニュースレター第1号、東京大学アジア研究図書館、2020年10月1日、pp.12-14。

「戦争の記録とメロドラマ的快樂—戦時中の国策映画と新国劇における香港攻略」『インテリジェンス』No.21 (20世紀メディア研究所、2021年3月) pp.35-44。

「アイデンティティを探し続けて—香港映画の一世紀」国立映画アーカイブニュースレター 第8号、2021年11月、pp.8-11。

「董夫人—作品とその監督について」国立映画アーカイブニュースレター 第11号、2022年6月、pp.11-13。

「戦争と映画と『女子供』の顔」映画祭「領土と戦争」パンフレット、2022年12月、pp.10-14。

### 【口頭発表】

「第三の映画、第三世界の映画、第三世界主義の映画、第三世界美学」『支配と抵抗の映像文化』合評会 (於法政大学麻布台セミナーハウス)、2019年7月21日。

鼎談：「知られざる中国映画の発祥—上海映画の血沸き肉踊る歴史」、『銀幕発光—中国映画の伝来と上海放映興業の展開』刊行記念会 (於 ESPACE BIBLIO)、2019年5月11日。

招待講演：「有容乃大 兼容并包—从新中国电影到新时代的中国电影」(新中国電影から新時代の中国映画へ) 全球視野下的新中国電影七十年學術論壇 (於北京師範大学)、2019年4月8日。

コメンテーター「貫戦期における日中映画の越境と協働をめぐる総合的研究」シンポジウム、早稲田大学20世紀メディア研究会、2020年11月28日。

口頭発表：三、四十年代日人在港的觀影攝影活動、香港電影資料館開館20周年記念シンポジウム、2021年1月9日。(国際学会、招待)

「20世紀中国史の資料的復元」共同研究班コメンテーター、京都大学人文科学研究所、2021年2月12日。

「香港映画発展史探究」特集『董夫人』の上映後トーク、国立映画アーカイブ、2022年1月16日。

公開講義「电影的<空间>与<场所>——亚洲导演镜头下的东京」中国東南大学芸術学院冬季学校専門講座、2022年2月18日、25日。

公開講義「國別電影的彼岸：中國移民的電影及其身份認同」香港教育大学、2022年3月17日。

公開講義「定鏡凝視下の対話：日本映画《Keiko》（1979）及其他」、中国山西大学文学院戲劇影視文学系講座、2022年3月19日。

口頭発表：「戦争に貫かれる身体：戦中と戦後における女優白光」 学術研究助成基金助成金「建国初期中国を異動する身体芸術メディア・プロパガン」（18H03568）、2022年9月3日

講演：「日本映画演技論小史——从伊丹万作“演技指导论草案”（1940）到滨口龙介“驾驶我的车”（2021）」南京伝媒学院、2022年11月18日（国際学会、招待）

口頭発表：Screening of Films from Imperial Japan in the Brazilian Nikkei community (1925-1941)、International Workshop “Mass Media, Popular Culture, and the State in Interwar Period Imperial Japan”、ルーヴェン・カトリック大学（ベルギー）、2022年12月17日。

講演「冷戦前期の香港における実験映画の制作：現存する作品を手掛かりに」、学術研究助成基金助成金「冷戦期東アジアにおける創作教育、文学、大衆文化」（19KK0010）、2023年3月10日。

講演「数碼时代的电影研究：作者論和女性主义电影理論的射程」（デジタル時代の映画研究：作家論とフェミニズム映画理論の射程）北京大学芸術学院、2023年8月12日。

### 【その他】

第34回東京国際映画祭「アジアの未来」部門審査員、2021年11月。

国立映画アーカイブ「香港映画発展史探究」上映作品の日本語字幕作成のための広東語聞き起こし・書き起こしならびに日本語字幕監修字幕研修、2021年12月。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計8件（うち査読付論文 2件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 1件）

1. 著者名 韓燕麗	4. 巻 11
2. 論文標題 董夫人 作品とその監督について	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 国立映画アーカイブニュースレター	6. 最初と最後の頁 11-13
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 韓燕麗	4. 巻 なし
2. 論文標題 戦争と映画と「女子供」の顔	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 映画祭「領土と戦争」パンフレット	6. 最初と最後の頁 10-14
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 韓燕麗	4. 巻 なし
2. 論文標題 三、四十年代日人在港的觀影攝影活動	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 探索1930至1940年代香港電影	6. 最初と最後の頁 166-179
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 韓燕麗	4. 巻 4
2. 論文標題 探尋海外光影—有關早期華語有声片制作的補遺	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 北大芸術評論	6. 最初と最後の頁 66-77
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 韓燕麗	4. 巻 8
2. 論文標題 アイデンティティを探し続けて 香港映画の一世紀	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 国立映画アーカイブニュースレター	6. 最初と最後の頁 8-11
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 韓燕麗	4. 巻 44
2. 論文標題 移民の映画とアイデンティティ ナショナル・シネマの枠組みを突き破って	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 淡青	6. 最初と最後の頁 14
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 韓燕麗	4. 巻 21
2. 論文標題 戦争の記録とメロドラマ的快楽 戦時中の国策映画と新国劇における香港攻略	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 インテリジェンス	6. 最初と最後の頁 35-44
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 韓燕麗	4. 巻 247
2. 論文標題 中国語映画の「戦後」 女優李麗華とその主演作品を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アジア遊学	6. 最初と最後の頁 182-195
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計12件（うち招待講演 7件 / うち国際学会 4件）

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 戦争に貫かれる身体：戦中と戦後における女優白光
3. 学会等名 国際ワークショップ「建国初期中国を異動する身体芸術メディア・プロパガン」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 日本電影演技論小史
3. 学会等名 南京伝媒学院 当代影視表導演国際論壇（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 Screening of Films from Imperial Japan in the Brazilian Nikkei community (1925-1941)
3. 学会等名 International Workshop “Mass Media, Popular Culture, and the State in Interwar Period Imperial Japan”（国際学会）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 冷戦前期の香港における実験映画の制作：現存する作品を手掛かりに
3. 学会等名 国際ワークショップ「冷戦期東アジアにおける創作教育、文学、大衆文化」（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 電影的 <空間> と <場所>
3. 学会等名 中国東南大学芸術学院専門講座（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 國別電影の彼岸：中國移民の電影及其身分認同
3. 学会等名 香港教育大学招待講演（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 定鏡凝視下の対話
3. 学会等名 中国山西大学文学院戲劇影視文学系専門講座（招待講演）
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 「貫戦期における日中映画の越境と協働をめぐる総合的研究」シンポジウムコメンテーター
3. 学会等名 早稲田大学20世紀メディア研究会
4. 発表年 2020年



1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 三、四十年代日人在港的觀影攝影活動
3. 学会等名 香港電影資料館開館20周年記念シンポジウム（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 「20世紀中国史の資料的復元」共同研究班コメンテーター
3. 学会等名 京都大学人文科学研究所研究班
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 有容乃大 兼容并包 从新中国電影到新時代的中国電影
3. 学会等名 全球視野下的新中国電影七十年學術論壇（招待講演）（國際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 韓燕麗
2. 発表標題 第三の映画、第三世界の映画、第三世界主義の映画、第三世界美学
3. 学会等名 『支配と抵抗の映像文化』合評会
4. 発表年 2019年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計1件

国際研究集会	開催年
国際ワークショップ「無声映画期の欧米諸国における日本映画人の活動」	2023年～2023年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------